

# 平成30年度行政評価システム職員研修計画書

## 1 現状及び本市の取組

行政評価システムが全国の自治体で導入、実施されるようになってから10年以上が経過した。平成26年3月に公表された総務省の行政評価の取組状況等に関する調査結果によると、全国の市区で、予定を含めると約9割の自治体が行政評価を導入している状況にある。

本市においては、行政評価システム導入に向けて、平成20年度に行政評価導入が推進されている社会的背景や必要性などの基礎的な研修を全職員対象に行い、行政評価に対する職員の意識の高揚を図った。

平成21年度には、コンサルタントの支援を受けながら行政評価システムの制度構築に着手するとともに、行政評価の実施について全職員研修及び係長以上を対象とした事務事業評価の説明会を行った。平成22、23年度には、指標の設定や評価の視点を学習するための実践的な全職員研修、平成24年度には新規採用職員と希望職員を対象とした職員研修会を行った。平成25年度には、施策評価の公表に伴い、全課長、係長を対象に事務事業評価の記載内容の精査に関する研修会を行った。平成26年度からは、新規採用職員と希望職員を対象とした研修会を継続して実施してきている。

## 2 研修の目的

平成23年度から事務事業評価を本格導入し、平成25年度から施策評価を実施し、市ホームページにおいて公表している。

平成30年度も引き続き事務事業評価を実施するが、施策評価の公表に伴い、事務事業評価における業務の概要や指標の設定などの記載についてはその内容を十分に精査する必要がある。よって、今回の研修は、本市における行政評価の意義、目的を理解した上で、事務事業評価の内容の精度を高めることを目的とする。

## 3 講師

(株)ぎょうせい 研究員 皆川 拓 氏

## 4 対象者

新規採用職員

## 5 日時

10月22日(月) 13:15~14:15

## 6 研修の概要

行政評価が必要とされている背景、本市の行政評価システムの目的・特徴を学習し、PDCAサイクルによる業務マネジメントについて理解を深める。また、業務の概要、指標の設定方法について基礎的な内容を学習する。